



参見で新型コロナ対策などを説明する移本知事=順序で

新型コロナ

アイヤー社製で、県内では十一年と十二年の二回目接種分として、ワクチン四万三千四百四十回分が運び、国から毎月十五万の額が支給され、同下旬にはまた届いて、県から市町に配達する計画だ。

接種は市町が主体にならる。桜木知事は「市町、医師会と相談して接種をはじめる」と述べた。

杉本滋治会長は十一日、全国DJ十二月
からのスターとする新規「ロナウイルズ」
クチへの巡回接種について、県内では
十二月に医療從事者から接種を始め、来
年一月には高齢者施設の入所者と職員に
も対象を広げてじみて明らかにした。県
庁での定例参見で述べた。「新規」「ロナ
ウイルス」(県谷川寛也)

来月から3回接種 ワクチンまず医療従事者

5人以上の会食OK

ができていたらしい。第五波での感染者数は千六百七十六人。
発症から診断までの平均日数は一日。
○(口) 日だった。人口十万人当たりの延べ重症者数を金額に換算するに累んで
十九の一千で、重症者を抑止できたといふ
う。平均入院日数は九・四日で、第四波(三月一日～七月十九日)の十一・二日
より短縮された。(表記三頁)

吉川義久の入所者と職員に
びとて開かにした。最
近述べた。=新規「日ナ
（東京日報）

千人を想定。「回目の接種」という国の指針がある種から八ヶ月以上たったため、医療従事者のうち四

県内来月から3回目接種

月末までに二回目を打ち終えた人が、十二月に被扶助を受けた」と事ができる。

高齢者施設の入所者、職員の三回目接種の対象者は、それぞれ一万一千人と見込んでいる。

県によると、県内でワクチンの一回接種を終えた人は十日現在、十二歳以上人口（六十九万九千人）のうち85・6%に達している。

県の分析では、ワクチン接種済みの方は感染率が低めでしたが、濃厚接触した他の人の感染率が低めなのがでこる。根本知事は「年末年始の帰省や成人式に向け、だらけたり」と「ワクチン接種をしても心配だ」と求められた。